

番組審議会

第695回

2025年7月14日

■ 審議会の構成

出席委員数 10名

委員長 音 好 宏

副委員長 江 澤 佐知子

委 員 川喜田 尚 田 中 東 子

谷 本 歩 実 洞 口 依 子

長 嶋 有 二 関 辰 郎

水無田 気 流 目加田 説 子

TBSテレビ 龍 宝 社 長

合 田 専 務

井 上 取締役

三 城 コンテンツ戦略局長

石 橋 コンテンツ制作局長

小 林 バラエティ制作二部長

加 藤 「マツコの知らない世界」
プロデューサー

藤 田 編成考査局長

浜 崎 カスタマーサクセス室長

満 田 番組審議会事務局長

■ 議事概要

1. 審議事項

(1) 「マツコの知らない世界」

6月17日（火）20：55～22：00放送

(2) その他

2. 報告事項

(1) 「熱狂マニアさん！」に関するＢＰＯの意見について

3. 事務局報告事項

(1) 視聴者からの声

(2) 次回審議会の議題及び日程

【審議番組について】（「マツコの知らない世界」６月１７日放送分）

２０１１年に深夜３０分枠で２年間放送、そして２０１４年から現在の火曜２１時枠で放送を開始。一貫して変わらないのは、毎回ある特定の分野に情熱を燃やす人々をゲストに迎え、自ら得意ジャンルや現在ハマっているものを企画として持ち込み、マツコに「知らない世界」をプレゼンするというスタイル。審議対象回で取り上げたのは「刺繍の世界」と「女子相撲の世界」。どちらも他のＧＰ帯番組では見かけることのない、文化的ネタ・マイナースポーツネタで中身にこだわって制作した。

【委員の主な意見】

<「刺繍の世界」について>

- ☐ 周りでもやっている人が多い刺繍。それをさらに面白く伝えて、一般の人に落としていっている。好奇心旺盛に伝えてくれることで、一つの文化の渦を作っているように感じた。
- ☐ 刺繍は高齢者の認知機能の維持や心の安定につながると臨床でも報告されている。ファッションやアートという視点だけでなく、手縫いの重要性を引き立たせるために「私たちがする」という視点があると日常に生きていく気がした。
- ☐ 日本はいわゆる拝欧主義的な気質があると言われているので、刺繍の歴史的背景を伝えるのであればヨーロッパだけでなく、長い歴史をもつ中国やイン

ドについても一言触れた方がより深みが出たように思う。

- マツコさんがゲストのキャラクターを引き出すのがこの番組の持ち味だが、刺繍に関しては技術や歴史の説明、解説調になっていた。またゲストのご両親が著名人ということにフォーカスが当たって、ご本人の功績がいまひとつ伝わらず残念だった。

<「女子相撲の世界」について>

- 競技特性上、容姿をいじる風潮がいまだに根強く残っている中どう扱うか不安があったが、女子アスリートの真っすぐな気持ちが鮮明に表れていて、競技環境の苦労を細部にわたって取り上げるなど、スポーツに対しての敬意と本質をとらえた構成だった。
- 女子相撲のマイナーだがそこに対する熱い思いが、出ていた人たちから伝わってきた。もっと見たかったが、全体的に要素が多かった。人間の面白さみたいところはもう少し紹介した方が、トータルとして見やすく引きつけられるのでは。
- 応援したいという気持ちにさせる内容だったが、女性は土俵に上がることが許されないという禁制が今も続く。だから女子相撲は男子相撲とは違う厳しい状況があるということをもう少し丁寧に描いてもらえるとよかった。
- 高校の先生が私財をなげうってまで相撲部員を鍛えていた。果たしてこれを美談にしているのか、日本の女子アスリートの問題点でもあるので、少しだけ深掘りがあればよかった。

＜番組全体を通して＞

- 新聞や雑誌で、それまで関心のない事項の見出しや写真がたまたま目に入って読んでみたら面白かった、という経験をすることがあるが、同じことがテレビで起こっている感じがあり、興味深さがあった。
- 刺繍の世界に手芸男子が登場、相撲は女子相撲を紹介。既存のジェンダー観をずらすような二つのテーマが組み合わせられてメッセージ性があった。
- 感心するだけだとお利口な番組になってしまうところ、「ちょっとわからない」「ついていけない」を見せるさじ加減が絶妙。すべて一人でやっているマツコさんのタレント力に改めて感心。
- マツコさんが「オカマ」とポロッと言った箇所、残すかどうか議論になったと思う。マツコさんだからいいのか、駄目だとも簡単に言えないことだが、引き続き無思考ではなく個別のこととして判断して欲しい。

【局からの回答】

- 「刺繍の世界」でいうと、カタログ的になってしまった部分は制作チームとしても感じていたところ。より多くの人たちにまずは入り口を見てもらうという狙いもあったが、いただいたご指摘についてはもっと意識してやっていかなければいけないと改めて思った。
- コンプラ面、そして中身面でも無思考ではなく、インプット、価値観向上、リスキングを含めて努めていかなければならないということを、ご意見を伺った中で改めて強く思った。持ち帰って番組スタッフみんなと共有できたらと思う。